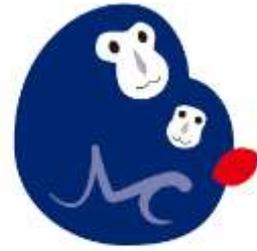


F A X 送 付 状



JAPAN MONKEY CENTRE

送信先 報道各位  
送信枚数 本紙を含めて 4枚  
送信日 2019年 3月22日

## 『VS (ブイエス) 飼育員』 ～4月19日は飼育の日！飼育員のお仕事に挑戦！～ を今年も開催します！！

うらかな春の日差しが心地よい季節となりました。貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

日本モンキーセンターではこの春3回目となる人気イベント『VS 飼育員』を開催致します。4月19日は語呂合わせで『し・い・く』の日です。そこで4月13日・14日・20日・21日に、意外と知られていない飼育員の仕事や凄い能力を知っていただくことを目的とし、飼育員の仕事にちなんだ4種目の競技で、参加者と飼育員が楽しみながら競い合うイベントを開催します。昨年は多くの方々にご参加いただき、大いに盛り上がりました。

**昨年の内容に改良を加え、バージョンアップした『VS 飼育員』をちょっと変わった話題としては是非、ご紹介ください。**

また今年は、報道関係の皆さまに『VS 飼育員』の内容や飼育員の凄さを知っていただくために、**4月1日(月)(無料開放日)**に一足早く、「**競技体験会**」を開催します！

本番に実施予定の4種目の中から『うんちを集めよう！』と新競技の『食事をとどけよう！』の2種目の競技を体験していただけます。体力自慢の方などいらっしゃいましたら、是非この機会にご参加ください。また「VS 飼育員」の取材の受付は随時おこなっております。詳細は下記の通りです。

### 『VS 飼育員』競技体験会

■日時 2019年4月1日(月)13:00～14:00 ※※雨天延期

(予備日 2019年4月2日(火) 13:00～14:00 ※4月2日は雨天でも実施します)

※上記以外の時間を希望する場合は個別に対応いたしますので、ご連絡ください

※実施するかわからない場合は、お問い合わせ先の「VS 飼育員」実施担当者：附属動物園部 荒木、山田、根本までご連絡ください。

■場所 日本モンキーセンター内 ギボンハウス周辺

■対象 報道関係者の方々 ※来園者が体験している様子を取材希望の場合も対応いたします。

■体験競技

『うんちを集めよう！』～清掃は飼育の基本！～

『食事をとどけよう！』～飼育員はコントロールも必要！～

■お願い ご参加されます方は取材時の人数、来園予定時間を事前にご連絡頂けると幸いです。

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823 メール : info@j-monkey.jp

「VS 飼育員」実施担当者：附属動物園部 荒木、山田、根本

問い合わせ窓口：附属動物園部 荒木、山田、根本 学術部 赤見、江藤

## VS 飼育員 詳細

■日時 2019年4月13日(土)、14日(日)、20日(土)、21日(日) ※雨天中止

12:30～受付開始

13:00～開会式

14:30～表彰式、閉会式

### ■内容

- ・競技で飼育員に勝ったらエントリーカードに3つスタンプが押されます。(引き分け2つ、負け1つ)
- ・4種目の競技スタンプの合計が多かった上位の方には、表彰式で素敵な賞品をプレゼント。

4種目の競技以外では・・・

- ・飼育員のお仕事を紹介するコーナー
- ・日本モンキーセンター飼育員の作業着が着用できる飼育員なりきりコーナーを設置します。

■場所 日本モンキーセンター内 ギボンハウス周辺

■定員 先着各日100名 ■参加費 無料(入園料別途必要)

■対象 3歳以上(小学生未満の場合は保護者同伴)

### ■競技種目

- ・『このサルみつけ!』～飼育員は1頭1頭を見分けられる!?～
- ・『食事をとどけよう!』～飼育員はコントロールも必要!～
- ・『食事の重さをあてよう!』～飼育員は感覚も大切!～
- ・『うんちを集めよう!』～清掃は飼育の基本!～

## 「飼育の日」について

2009年に(公社)日本動物園水族館協会が協会創立70周年を記念して4月19日を「飼育の日」と定めた。動物園や水族館の役割や飼育員の仕事などを広く普及するのが目的です。

### 資料1：競技種目と説明

#### 『このサルみつけ!』～飼育員は1頭1頭を見分けられる!?～ (写真1)

飼育員はサルたちの顔を1頭1頭見分けています。一般の方が同じように見えても、飼育員の目からは全く別の顔に見えます。そんな飼育員の個体を見分ける能力に挑戦してもらいます。今回はバーバリーマカクという国内でも数少ないサルで競技します。

#### 『食事をとどけよう!』～飼育員はコントロールも必要!～ (写真2)

アヌビスヒヒを飼育している「ヒヒの城」では、約80頭を飼育しているため、順位の低い個体は順位の高い個体と比べるとどうしても食べられる量が少ないです。順位の低い個体にもエサがゆき届くように、広い放飼場の端まで届くように一気にエサを飛ばして与えています。この食事を与える動画をSNSに投稿したところ、多くの方から反響があったことから競技にしました。この競技では狙ったところに向かってバケツで食事を届ける飼育員のコントロール力に挑戦してもらいます。

#### 『食事の重さをあてよう!』～飼育員は感覚も大切!～ (写真3)

動物たちの体調や季節、体の大きさなどに合わせて、食事の量を調整して与えています。毎日食事の準備をしている飼育員は野菜や果物持っただけで重さのわかる特殊な能力を身につけました。この競技では指定された重さに野菜や果物を組み合わせて、感覚だけで近づけてもらいます。

#### 『うんちを集めよう!』～清掃は飼育の基本!～ (写真4)

掃除は飼育員の仕事の基本です。動物たちの部屋を毎日掃除することで、よりキレイに、より早く掃除をするように心掛けています。とくリスザルの島やWaoランドの担当飼育員は来園者の方がサルたちのうんちを踏まないように、素早く回収する能力を身につけました。そんな掃除が得意な飼育員に挑んでもらいます。

参考写真①宣伝用ポスター



参考写真②Twitter でバズったヒヒの城の給餌動画のツイート



参考写真③. 競技写真：『このサルみっけ！』



参考写真④. 競技写真『食事をとどけよう！』



参考写真⑤. 競技写真：『食事の重さをあてよう！』



参考写真⑥. 競技写真：『うんちを集めよう！』

